

令和6年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立体育会館			指定管理者：シンコースポーツ・NTTグループ			指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日			所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課		
評価項目			評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価		
					S～C		S～C		S～C		
I 提案 の 履 行 状 況 に 関 す る 項 目	平 等 利 用 が 確 保 さ れ る よ う 適 切 な 管 理 を 行 な う た め の 方 策	(1)施設の設置目的 及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営 ②提案した管理運営方針に沿った管理 ③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の 取組み	①全国規模の大会からアマチュアスポーツ大会の開催およびプロ レスなどの興行や会社の式典などバランスのとれた日程調整を心 がけ運営を行っている。（評価点：3点） ②賑わいを意識した利用団体の誘致 ・昨年度になかった音楽イベントで施設を利用して頂いた。 また、昨年度に引き続きイベント毎で正面ピロティにキッチン カーを出店し、賑わいを創出した。（評価点：3点） ③ゴミの持ち帰り、分別を徹底。 節電対策として使用していない箇所の照明の消灯や事務所内の 照明を間引いて運営している。 個人情報保護に関する研修を実施し、全スタッフが個人情報保 護法を遵守する重要性を理解しマニュアルに基づく個人情報の管 理を実施している。（評価点：3点）	A	①体育及びスポーツの振興や文化的な集会及び催物の場を意 識した日程調整を行い、スポーツとにぎわいの殿堂を意識し た運営を行っている。 ②新規イベントを誘致するほか、集客性の高いイベントの継 続誘致を行い、賑わいの創出に寄与した。 ③提案どおり、環境保全活動として省エネ対策やごみの分別 等に取り組むとともに、法令遵守の取り組みとして個人情報 保護関する研修等を実施できている。	A		A		
		(2)平等な利用を図 るための具体的手 法・効果	①公平なサービス提供、対応状況 ②高齢者、障がい者等に対する配慮 ③感染拡大防止対策の徹底	①ホームページを定期的に更新し、また、インスタグラムを活用 して、会館情報や教室情報を発信している。 施設の予約取得に関してはチェックリストを作成し、予約が公 平になされているか、複数のスタッフによる監視を実施してい る。（評価点：3点） ②高齢者が見やすいように案内用掲示物は大きな文字サイズで作 成。 視覚障がい者団体利用の際は、正面ピロティの盲動鈴使用。 障がい者団体の減免措置などを配慮した体制を実施。 (評価点：3点) ③新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されてから個人 の判断に委ねられている為、利用者の判断とし、受付にアルコー ル消毒を設置している。（評価点：3点）	A	①ホームページやSNSを活用したタイムリーな情報発信を行う ことができている。また、チェックリストの使用や複数職員 による確認を徹底することでトラブルの防止に努め、高い対 応水準を確保している。 ②障がい者団体の減免措置、案内掲示物の文字の拡大化や盲 導鈴の設置などにより、高齢者や障がい者の利用促進が図ら れている。 ③アルコール消毒を受付に設置するなど、不安に思う利用者 への対応ができている。	A		A		
	施 設 の 効 用 を 最 大 限 発 揮 す る た め の 方 策	(3)利用者の増加を 図るための具体的手 法・効果	①利用者増を目指したにぎわいづくり方策 の取組み ②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕利用者数 令和5年度実績：619,103人 令和6年度目標：650,000人 9月末現在実績：266,595人	①国際、全国大会規模の催物を誘致し賑わいの創出を図る 4月：オールジャパンシリーズ実行委員会（ドッジボール大会） 5月：全日本フルコンタクト空手道選手権大会 6月：全日本ウェイト制空手道選手権大会 7月：全日本ジュニア空手道選手権大会 WWEプロレス、吉本スポーツフェスティバル 8月：NEXZ JAPAN SHOW CASE 2024 全国中学生空手道選手権大会 9月：日本ハンドボールリーグ（リーグH） TEAYANG 2024 TOUR 10月：SV LEAGUE、国際親善バドミントン大会 11月：SV LEAGUE、全国空手道選手権大会 12月：JOCバレーボール大会、SV LEAGUE （評価点：2点） ②季刊誌の発行・行事予定表の発行 デジタルサイネージの運用 （評価点：3点）	B	①利用者数見込みは約640,000人と目標値に届かないが、新規 イベントの誘致を行い一定の成果をあげている。 ②大阪市バスの広告枠やデジタルサイネージを活用するなど 情報発信の取り組みを実施している。	B		B		
		(4)サービスの向上 を図るための具体的 手法・効果	①提案のあったサービス向上策の取組み ②自主事業の取組み ③施設設備、機能の活用	①デジタルサイネージによる施設の情報発信を実施。 授乳室、ワーキングスペースの設置継続中。 （評価点：2点） ②ライフステージに応じた既存の教室を展開している。 （評価点：3点） ③利用団体との打合せ時に利用にあった附帯設備の使用を促して おります。 気持ち良く利用して頂けるように附帯設備の日常点検や清潔な管 理を心がけている。（評価点：3点）	A	①授乳室やワーキングスペースの設置を継続し、利用者サー ビスの向上に寄与した。 ②利用者のニーズにあわせて、教室の受講回数を柔軟に選択 できるように工夫し、継続利用につなげた。 ③利用者の目的に応じた附帯設備の案内を行い、施設設備・ 機能を活用につなげた。	A		A		

施設名称：府立体育会館			指定管理者：シンコースポーツ・NTTグループ		指定期間：令和３年４月１日～令和８年３月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課		
評価項目			評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設所管課の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言	評価 S～C
Ⅰ 提案の 履行 状況に 関する 項目	施設の 効用を 最大限 発揮す るため の方策	(5)施設の維持管理 の内容、適 格性及 び実現 の程度			①休館日を利用して効率的に保守点検を実施しており、不具合が見つかれば随時修繕を行っている。 （評価点：3点） ②チェックリストを作成し、利用後の施設点検、備品確認を実施。 定期的にスタッフによる安全目視点検や業者による器具点検も実施している。（評価点：3点） ③大阪府警（浪速署）と連携を図り、地域の防災対策への協力やイベント開催時の情報共有を行っている。 テナント職員を含めた年2回消防訓練を実施（9月・3月） 防災グッズの備蓄。（評価点：3点）		A		①休館日を利用し計画的に保守点検を実施し、施設運営に支障が出さず効率的に保守点検を実施している。 ②チェックリストを用いた、利用後の施設点検、備品確認を実施するとともに、月に１度スタッフや業者による点検も実施している。 ③大阪府警や大阪市、周辺企業等と連携し、地域の防災対策への協力やイベント開催の情報共有を行った。防災グッズを備蓄するほか、テナント職員を含め、施設としての消防訓練も実施している。
		(6)収入確保策の実 施	①広告収入等の収入確保策の取組み ②提案どおり実施されているか。	①月間行事予定広告掲載枠１社、季刊誌広告掲載枠２社 サイネージ広告枠年間１社、期間１社（評価点：3点） ②トイレ広告は、募集しているが、収入確保に至っていない。その他は、提案どおり実施。（評価点：2点）	B	①広告収入により収入確保策の取組みが実施できている。 ②トイレ広告の収入確保はできていないが、広告期間を年間単位から月間やスポットにも対応可能とするなど収入確保に向けた工夫を行っている。	B		B
	その他 管理に 際して 必要な 事項	(7)府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み ②行政の福祉化の取組み ③市民・NPOとの協働の取組み ④環境問題への取組み	①『第３次大阪府スポーツ推進計画』に賛同し、ライフステージに応じたスポーツ教室を実施。 『大阪府男女共同参画プラン』に賛同し、管理職に女性を登用。 （評価点：3点） ②知的障がい者の雇用（事務員１名） 障がい者雇用率：シンコースポーツ株式会社3.15% 障がい者サポートカンパニー制度に登録済み。 大阪人材雇用開発人権センターへ加入済み。（評価点：3点） ③地域の子ども安全見守りなど地域の防犯活動への協力（こども110） 地域の祭りや町会への協力（評価点：3点） ④リサイクル用紙や裏紙を継続して使用し、ごみの発生を削減している。第1・2競技場のLED照明による電気使用量・CO2を削減。 外気温や利用者数に応じた空調設備などの間欠運転を実施し、節電に務めた。また、エコキャップ運動の取組も継続しています。 （評価点：3点）	A	①大阪府スポーツ推進計画に基づき、ライフステージに応じたスポーツ教室を実施し、スポーツ実施率の向上、参画人口の拡大に寄与している。また、大阪府男女共同参画プランに基づき、管理職に女性を登用している。 ②障がい者雇用の取組みとして、提案どおり知的障がい者の雇用率を達成できている。 ③大阪市、周辺企業と連携し、地域の防犯活動や祭りに協力した。 ④SDGs17の目標のうち、11「住み続けられるまちづくりを」、12「つくる責任 つかう責任」、14「海の豊かさを守ろう」に関する取組みを行っている。	A		A
			Ⅰ 総括			7項目（28点満点）	A	7項目（28点満点）	A

施設名称：府立体育会館		指定管理者：シンコースポーツ・NTTグループ		指定期間：令和３年４月１日～令和８年３月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課			
評価項目		評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
				S～C		S～C		S～C
Ⅱ さらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 ②調査結果のフィードバック（PDCA）	①利用団体、教室受講者にアンケートを実施予定（１０月～２月） （評価点：3点） ②昨年の調査結果を受けて1階西門の扉を修繕しました。 （評価点：3点）	A	①良好な結果であり、利用者満足度の向上に寄与している。 ②調査結果を受けて改善に着手した。	A		A
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 〔指標１〕自主事業参加者数 R5実績：5,701人、上半期実績：3,024人 R6目標：5,200人、上半期実績：2,847人 〔指標２〕自主事業収入状況 R5実績：8,535,585円、上半期実績：4,580,268円 R6目標：6,600,000円、上半期実績：4,157,260円	①本場所開催施設として公益財団法人日本相撲協会との連携により、大相撲カレーなどの物品販売を実施しております。 キャンセル枠等にバドミントン開放DAYを実施。	A	①利用者のニーズにあわせて、教室の受講回数を柔軟に選択できるように工夫し、利用者の確保に努めており、目標が達成できる見込みである。	A		A
	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	①教室受講料や物販ご購入の際の支払い方法に電子決済に加え、クレジットカード決済を導入しました。 附帯設備にない用具の貸し出しとしてレンタル備品の貸出を継続実施中。（ビブスやマーカーコーンなど） 施設敷地内スペースにおいてバイクシェアポートを継続実施中。 （評価点：3点）	A	①支払い方法の追加や備品貸出、バイクシェアポートの継続設置等により、利用者の利便性を高めている。	A		A
	Ⅱ 総括		3項目（１２点満点）	A	3項目（１２点満点）	A		A
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 〔指標〕R6収支計算書 ・収入 プロポーザル：435,600千円、見込み：396,855千円 ・支出 プロポーザル：435,600千円、見込み：398,900千円 ・納付金 プロポーザル：150,000千円、見込み：150,000千円	① 事業収支及び見込み 《令和６年度：対プロポーザル比》 収 入： 91.1％ 支 出： 92％ 納付金：100％ 見込み：150,000千円	B	①光熱水費や人件費の高騰により支出増加の中でも大きな計画との差異はない。	B		B
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置 ②管理監督体制・責任体制 ③指導育成、研修体制	①総括責任者１名、事業運営３名、営業開発１名、清掃１名、設備（外部）１名、清掃（外部）５名、警備（外部）２名 ※時期により変動あり。（評価点：3点） ②総括責任者が施設に常駐し、業務全体を管理。総括責任者が大阪府の窓口となり要望や指示等に対して対応。 また、副責任者を置くことで責任者不在時でも対応できるようにバックアップ体制を取っている。（評価点：3点） ③CPR、AED研修を実施 新人スタッフ研修（新人スタッフ研修カリキュラム） コンプライアンス研修、業務研修、（eラーニング） （評価点：3点）	A	①適切な管理体制、配置をとることにより、円滑な管理運営を実現できている。 ②管理体制が整っており、部門ごとに担当者を置くことで、全体的な業務推進がなされている。 ③職員の質の維持向上のための各種研修を実施できている。	A		A

